



桜塚小学校だより 9月号

令和元年(2019年)9月25日

豊中市立桜塚小学校

<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/sakuraz/>

校長 原野 裕章



夏の暑さも和らぎ、ようやく秋らしい気候に向かっているように感じる今日この頃です。秋は台風の季節でもあります。先だつての台風15号のもたらした被害は、千葉県で今もなお続いている状況です。昨年度の台風21号を経験した身にとっては、他人事とは思えません。一日も早い復旧を願うばかりです。さて、子ども達は、運動会に向けて、一生懸命練習を始めています。それぞれの学年で工夫を凝らした演技になるのを楽しみにしています。6年生では、今年も組体操に挑戦します。ただし、今年度出された、豊中市教育委員会の方針にのっとり、安全に配慮した形で実施いたします。子ども達の頑張りを応援していただければと思います。



子ども達の様子

敬老の集い 9月14日(土)

毎年行なわれる

「敬老の集い」に、今年も1年生が参加しました。地域のお年寄りの方に、元気な歌声を届けました。本校区には、本校児童よりも多い、736人(4月1日現在)の80歳以上の方が暮らしておられます。また、桜塚こども教室のチアリーディング「ピンクエンジェルズ」も元気な演技を披露してくれました。



お知らせ

・熱中症の予防に、「伊関食品株式会社」から、「熱中飴」を寄贈していただきました。熱中症の予防には、水分補給を十分にすることと「塩分補給」も大切なことです。運動会の練習に向けて、涼しくなってきたとはいえ、まだまだ熱中症には注意が必要です。練習後の塩分補給等に活用していきます。

平成31年度(2019年度)全国学力・学習状況調査より

本年4月18日に6年生を対象に実施いたしました「全国学力・学習状況調査」における本校の分析結果について、お知らせいたします。この調査結果は、学力や学習状況の一部であり、児童の学力や学習状況、学校の教育活動等のすべてを表すものではありません。それを踏まえた上で、学校と家庭・地域が学力や学習状況に関する課題を共有し、さらに連携を深めていくことを目的として、お知らせいたします。今後も引き続き、ご理解ご協力をお願いいたします。

結果の概要

1、教科に関する調査より

国語、算数共に、正答率は全国平均を上回る結果であった。観点別に見ても、全ての項目で全国平均を上回っている。しかし、個々の問題で見ると、国語では、「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」問題で、全国平均を下回った。また、漢字を正しく書く問題で3問中1問が、全国平均を下回った。算数では、「棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取る」問題で、全国平均を下回った。

2、児童質問紙調査より

児童質問紙の全体から、「自分に良いところがある」と考えている児童の割合は、年々増えてきており、本年度は「将来の夢や目標をもっていますか」や「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」の問いにも肯定的に回答している児童の割合は高く、自尊感情が高まってきている状況がうかがえる。「学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか」の問いに対して、肯定的に回答している児童は全国平均よりも多く、86.9%であった。また、「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」の問いには、全国平均を上回る、89.5%の児童が、肯定的に回答している。

《まとめ》

本校では、来年度から始まる新学習指導要領の実施に向けて、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、研究を推進しているところである。本調査結果からは、一定の成果が得られたと考えている。しかし、国語の「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」ことに課題も見られる。今年度、本校の教科教育研究で、国語科の指導内容をもとに、「主体的・対話的で深い学び」の研究を推進している。本調査から見えてくる課題解決に向けて、取り組んでいきたい。